

新型コロナウイルス感染症 後遺症実態把握調査

調査期間：令和4年9月22日～令和6年12月31日

調査の概要

1 目的

新型コロナウイルス感染症の後遺症（コロナ後遺症）の実態を把握し、必要な対策や、より効果的な県民への啓発につなげる。

2 対象

後遺症の症状が4週間以上継続している方又は継続していた方

3 調査方法

県ホームページ上のアンケート調査

4 調査期間

令和4年9月22日～令和6年12月31日

県民向けアンケート調査

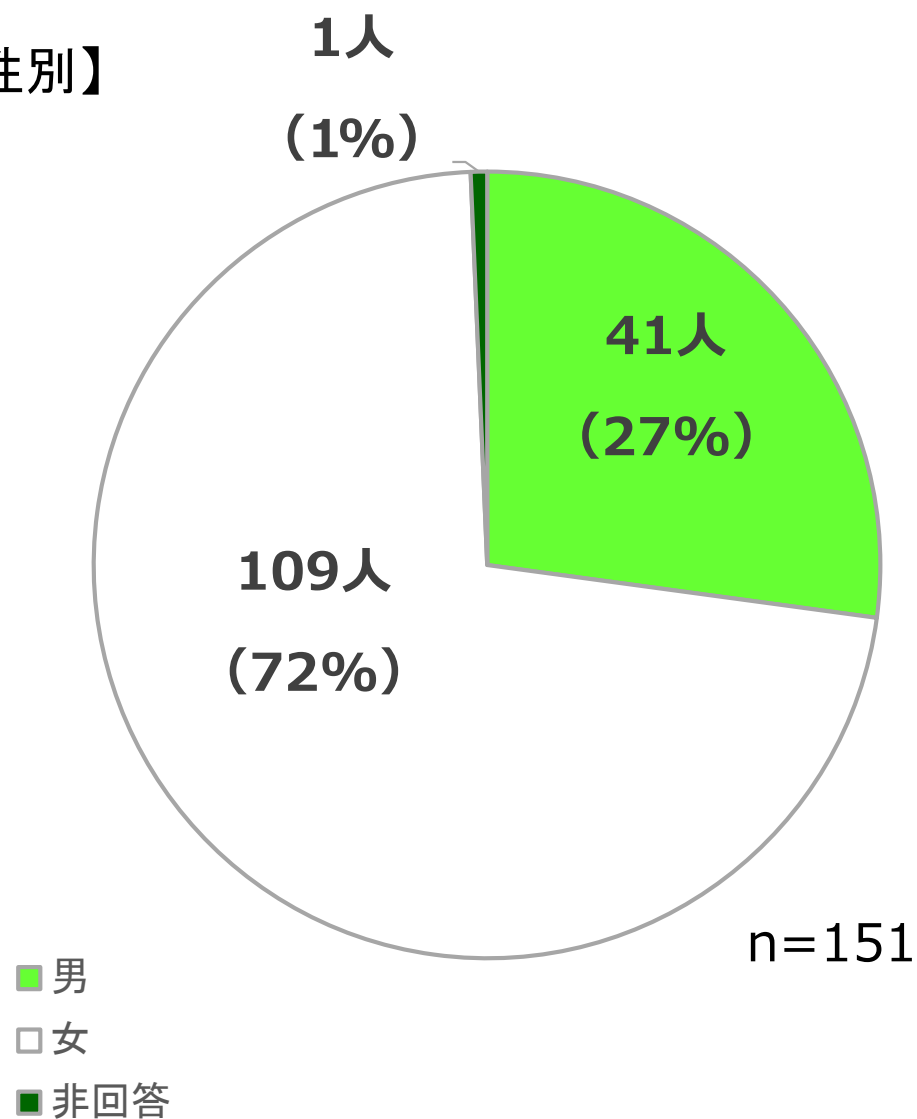
令和6年12月31日現在、回答者数は151人。

WHOは、「post COVID-19 condition」（コロナ後遺症）について、少なくとも2カ月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの。通常はCOVID-19の発症から3カ月経った時点にもみられる。（～以下略～）と定義しているが、国内における定義は現時点では定まっていない。（新型コロナウイルス感染症COVID-19診療の手引き 別冊 罹患後症状のマネジメントより）

県では、かかりつけ医等のないコロナ後遺症が疑われる患者が、セルフチェックシートを用いてコロナ後遺症診療協力病院を受診する際を目安を、「症状が4週間以上継続している場合」としていることから、今回の県民向けアンケート調査の対象を1カ月以上症状が継続している方としている。

県民アンケート結果（性別、年代）

【性別】



【年代】

10歳未満	4人	(3%)
10歳代	3人	(2%)
20歳代	6人	(4%)
30歳代	29人	(19%)
40歳代	43人	(28%)
50歳代	41人	(27%)
60歳代	12人	(8%)
70歳代	12人	(8%)
80歳以上	1人	(1%)

※割合は四捨五入の関係で100%にならないことがある

県民アンケート結果（市町村別回答者）

【市町村別回答者】

宮崎市	78人
都城市	25人
延岡市	18人
日南市	1人
小林市	3人
日向市	6人
串間市	0人
西都市	1人
えびの市	0人
三股町	2人
高原町	1人
国富町	1人
綾町	1人

高鍋町	2人
新富町	2人
西米良村	0人
木城町	0人
川南町	5人
都農町	0人
門川町	1人
諸塚村	0人
椎葉村	0人
美郷町	0人
高千穂町	1人
日之影町	0人
五ヶ瀬町	0人

※設問に回答していない方がいるため、回答者数の合計が一致していない。

県民アンケート結果 (ワクチン接種状況、コロナ判明時期、コロナ療養期間、 今も後遺症に悩んでいるか、後遺症継続期間)

【ワクチン接種状況】

未接種	1回	2回	3回	4回
21人	2人	22人	71人	35人

【今も後遺症に悩んでいるか】 ※回答日時点

今も悩んでいる	今は治っている
112人	39人

【コロナ陽性と分かった時期】

令和4年1月より前	令和4年1月以降
12人	137人

【後遺症が継続している（していた）期間】

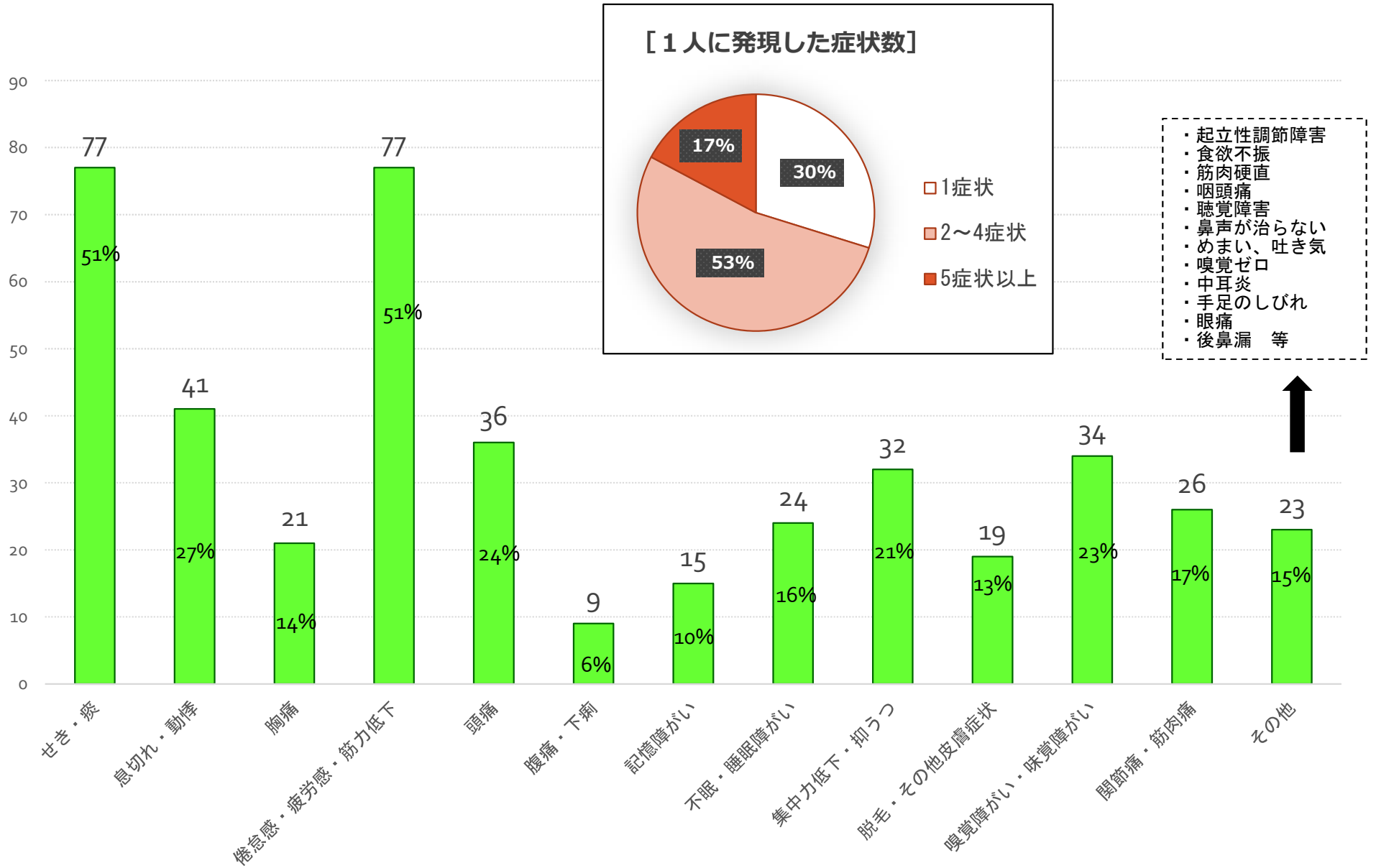
1～2か月	3～5か月	半年～1年	1年以上
80人	39人	17人	13人

【コロナの療養期間】

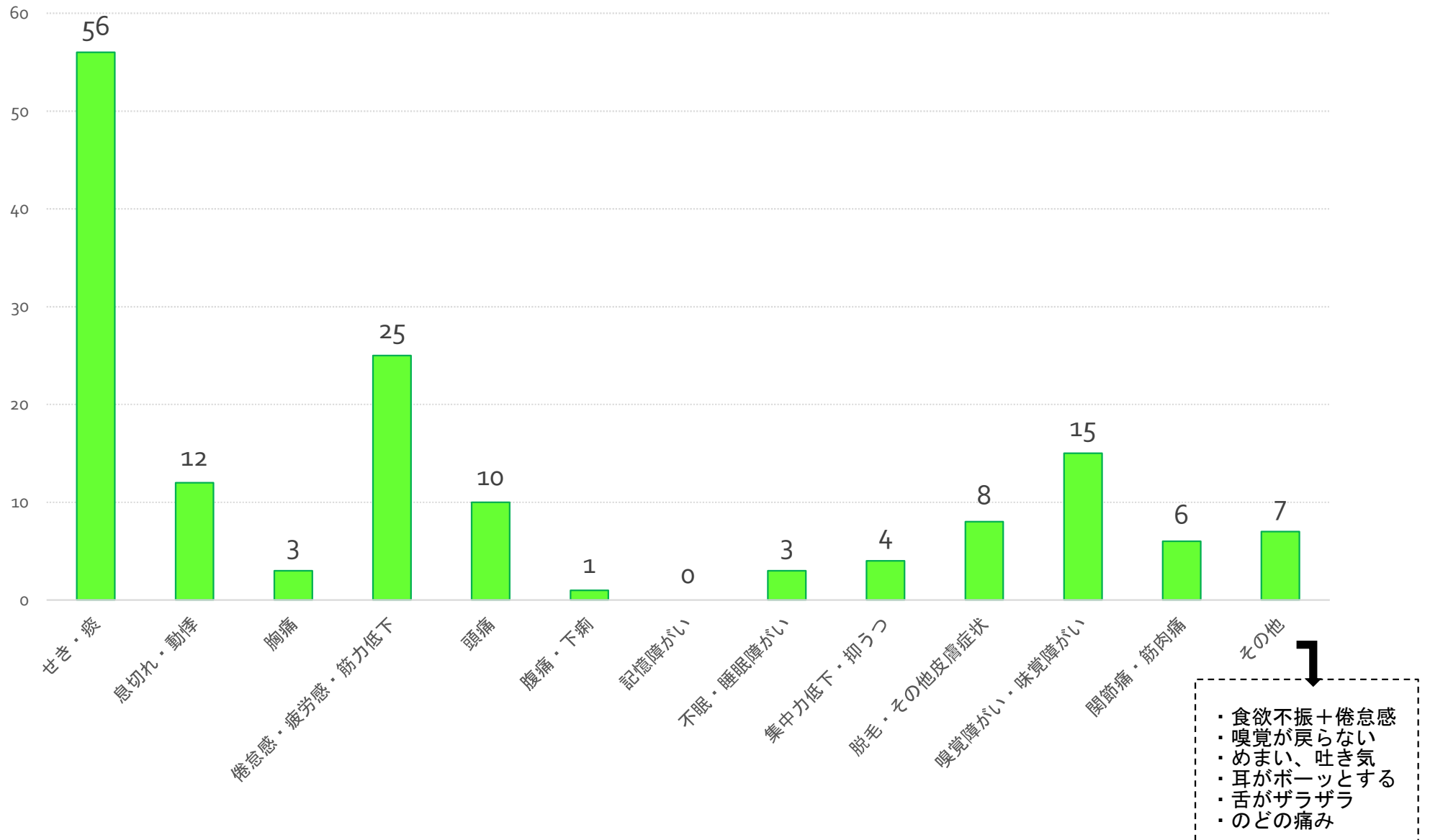
1週間以内	1～2週間	2週間以上
34人	89人	26人

※設問に回答していない方がいるため、
回答数の合計が一致していない。

県民アンケート結果（発現した症状（複数回答可））

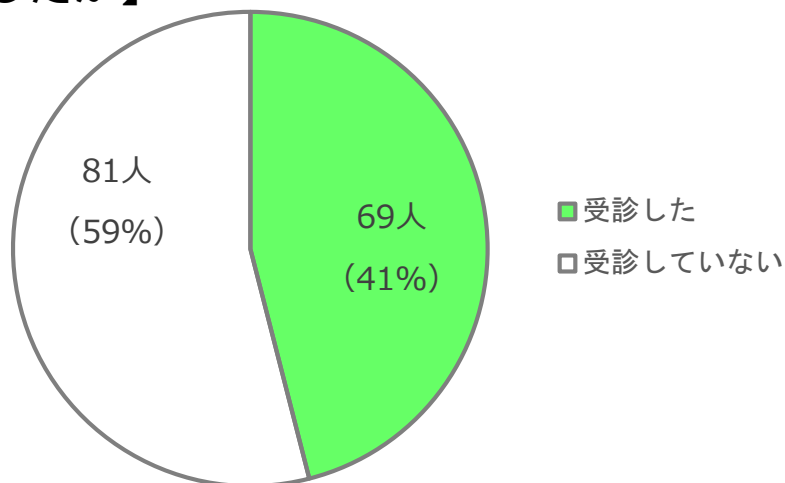


県民アンケート結果（最もつらいと感じた症状）

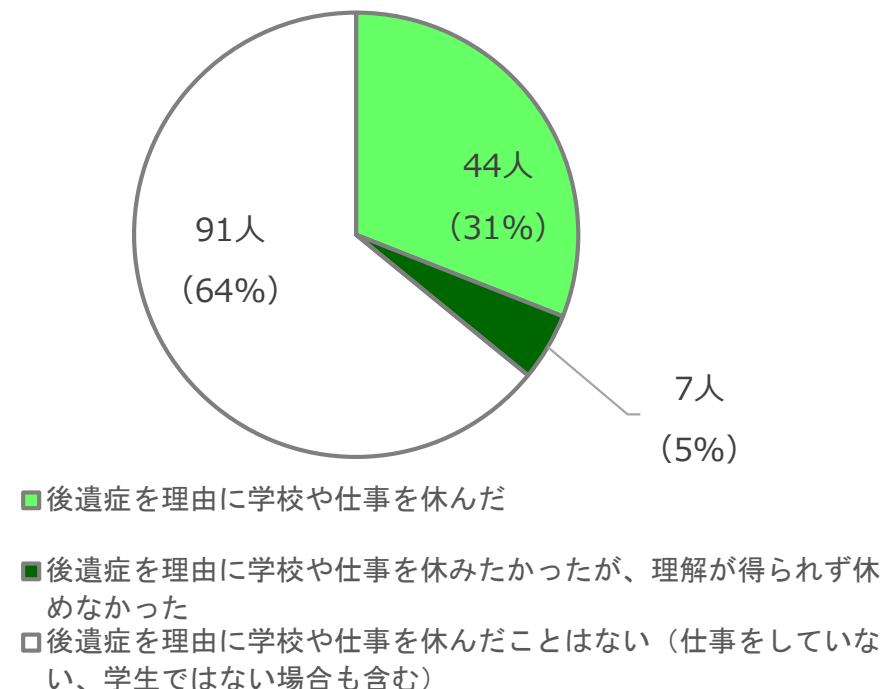


県民アンケート結果 (治療相談のために医療機関を受診したか、社会生活への影響、現在学校や職場に行くことができているか)

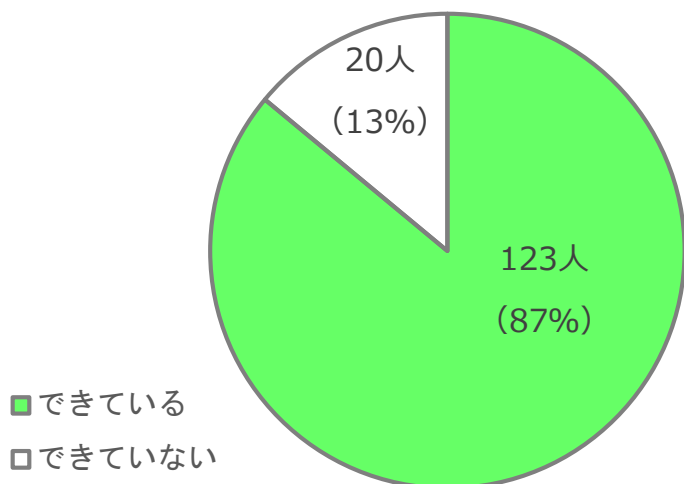
【後遺症の治療相談のために医療機関を受診したか】



【後遺症発症による社会生活への影響】



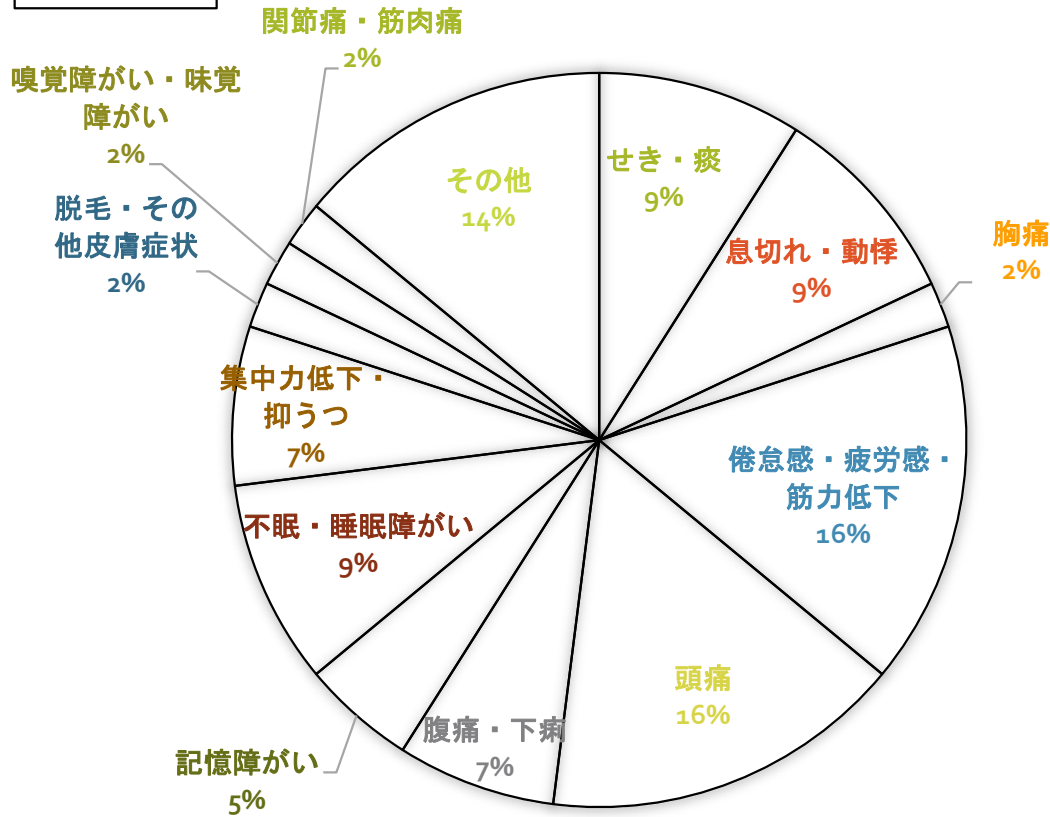
【現在学校や職場に行くことができているか】
※調査日時点



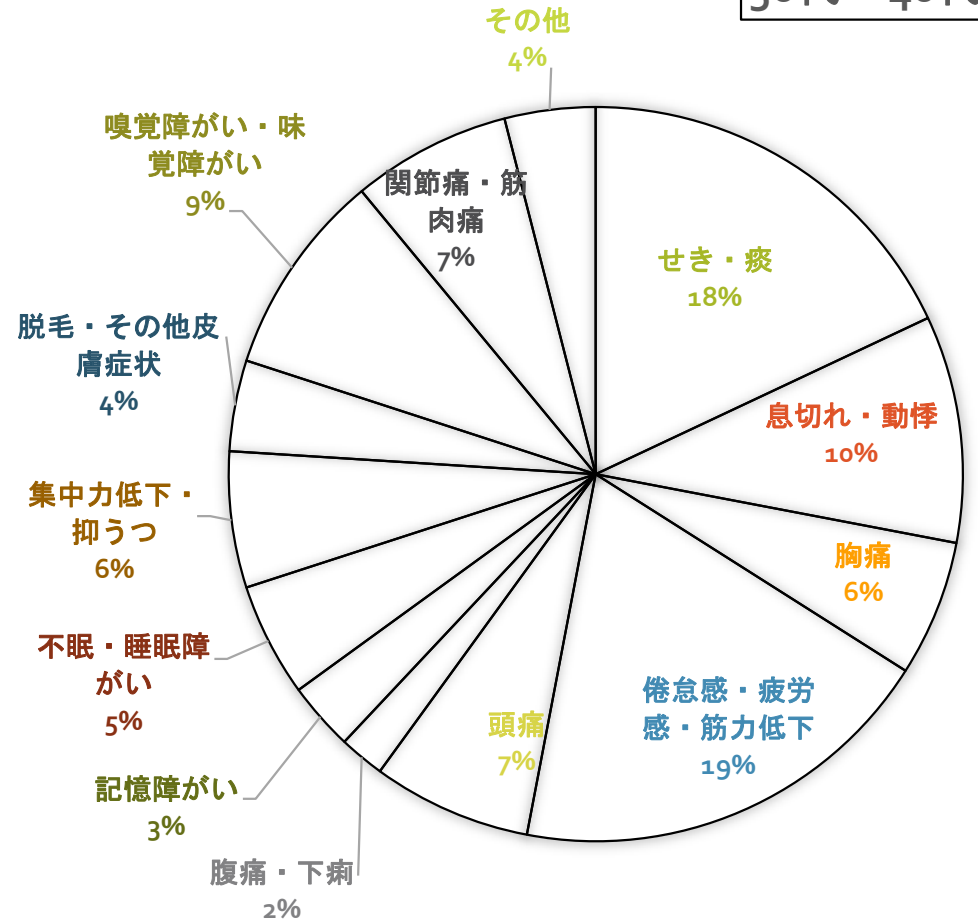
※設問に回答していない方がいるため、回答数の合計が一致していない。

県民アンケート結果（年代別症状の割合 20代以下、30代～40代）

20代以下



30代～40代

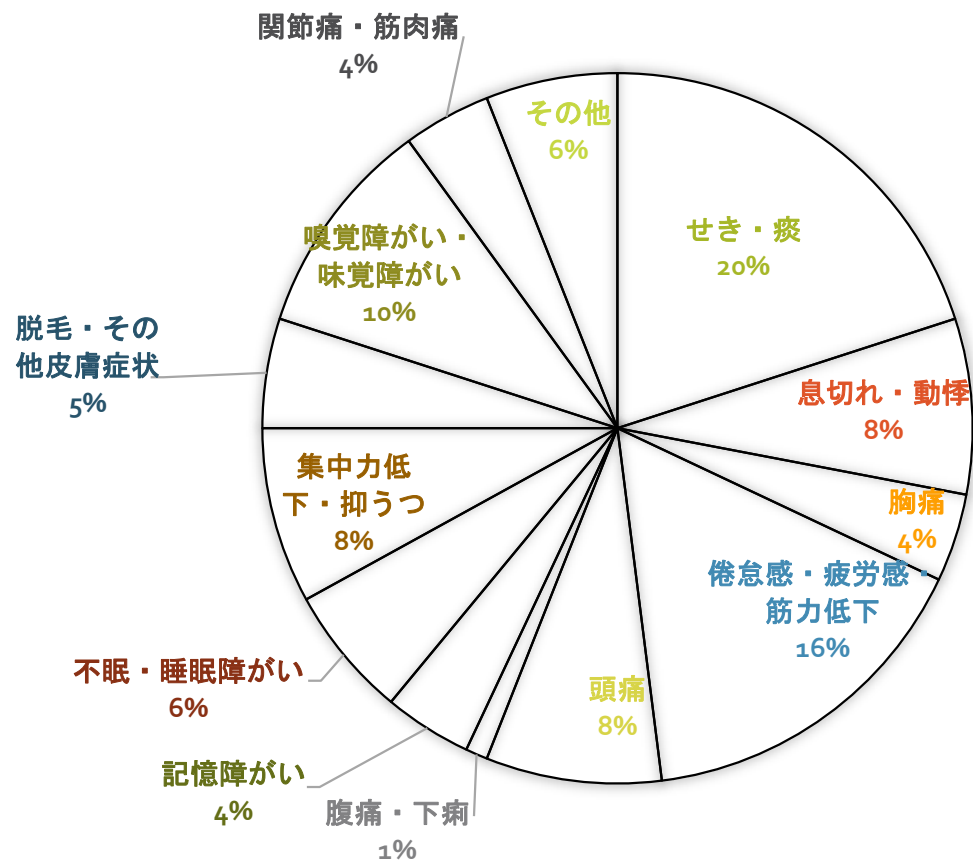


※各年代別に多く発現しているのはどの症状か

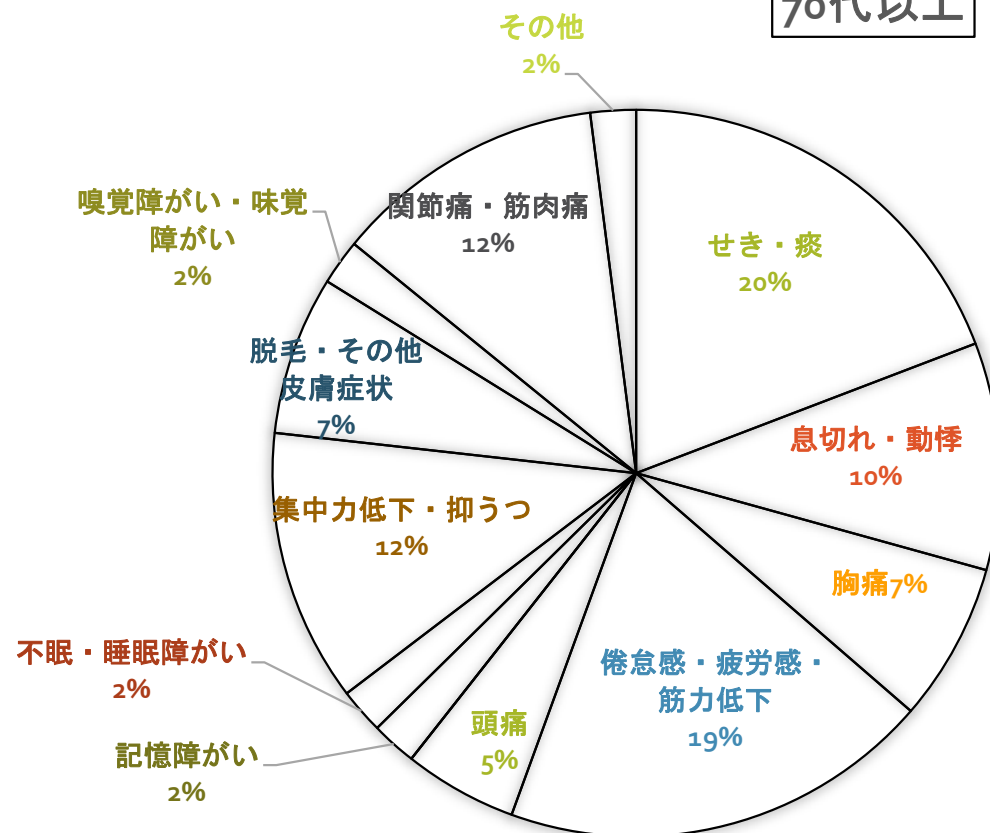
県民アンケート結果（年代別症状の割合）

50代～60代、70代以上

50代～60代



70代以上



その他

回答者数は令和4年9月22日からの累計で、前々回調査時点（R5. 1. 31）69人、前回調査時点（R5. 5. 31）115人、今回151人となっている。

※ 調査結果を見る上では、少人数の増減によって割合が大きく変わる項目がある点に注意する必要がある。なお、実態把握調査は今回をもって終了することとする。

- ・ 後遺症が継続していた期間は、1～2か月の割合が最も多い（約54%）が、前回調査時点よりも若干減少しており、3か月以上継続している方の割合が大きくなっている。
- ・ 発現した症状の上位は以下のとおり。調査時点によって割合に多少の増減はあるが、どの時点でも約半数に「せき・痰」、「倦怠感等」が発症するという傾向が見られた。

前々回	前回	今回
せき・痰（58%）	せき・痰（54%）	せき・痰（51%）
倦怠感・疲労感・筋力低下（45%）	倦怠感・疲労感・筋力低下（51%）	倦怠感・疲労感・筋力低下（51%）
息切れ・動悸、頭痛（22%）	息切れ・動悸（24%）	息切れ・動悸（27%）

- ・ 発現した症状数について、1症状のみという方は約3割程度であり、2～4症状と回答した方の割合が最も多いという点はいずれの調査時点でも同様。

- 後遺症の治療相談のために医療機関を受診した方の割合は約4割となっている。
 県としては、県医師会と連携し、かかりつけ医を持たない方等のために、引き続きコロナ後遺症診療協力医療機関を案内できる体制を確実に整備していく。



かかりつけ医

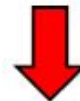
あり



※後遺症は時間の経過とともに快方に向かう場合が多く、まずはかかりつけ医などの身近な医療機関に相談することが基本。



かかりつけ医
なし



かかりつけ医では
対応できない

県のホームページ コロナ後遺症のページへ

セルフチェックシートをチェック！

新型コロナウイルス感染症 罹患後症状(後遺症) 医師 セルフチェックシート

医師の目的 A B Cすべてに該当チェックがついたら医師相談を要する可能性があります。

A 新型コロナウイルス感染症の重症化(治療時などの行動制限)が繰り返している。

B 罹患後症状(後遺症)が長期間にわたる回復不全への改善の度合いがレベル3以上(下第2レベル)の重症化している。

C 罹患後症状(後遺症)が長期間にわたる回復不全の状態が4週間以上継続している。

罹患後症状(後遺症)が疑われる症状について

(1)最も気になる症状を塗り(○) (2)重症化による回復不全への改善の度合いをレベルの段階から選んでください。 (3)症状が繰り返している場合は日数を記入してください。 (4)症状が繰り返している場合は日数を記入してください。 (5)医師表となる診療科

項目	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	レベル7	レベル8	レベル9	レベル10	レベル11	レベル12	レベル13	レベル14	レベル15	レベル16	レベル17	レベル18	レベル19	レベル20
ア 呼吸器系	咳	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰	痰
イ 全身症状	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感	倦怠感	疲労感
ウ 消化器系	食欲不振	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐	嘔吐
エ 神経系	頭痛	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい	めまい
オ 皮膚系	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹	発疹

医師相談を要する場合は、医師に相談してください。

- ✓ 自分の症状を客観視できる
- ✓ 受診すべきかの目安が分かる
- ✓ 受診すべき診療科が分かる

診療科ごとにリストアップしているコロナ後遺症診療協力医療機関を受診

- ・内科 (50)
- ・精神科・心療内科 (8)
- ・皮膚科 (6)
- ・耳鼻咽喉科 (15)
- ・整形外科 (12)
- ・その他 (9)

